

二相ステンレスに関する事項

改正規則等

鋼船規則 K 編及び M 編
鋼船規則検査要領 M 編

改正事項

二相ステンレスに関する事項

改正理由

オーステナイト系ステンレスが有する良好な延性及び靱性とフェライト系ステンレスが有する応力腐食割れに対する優れた耐性を兼ね備えた二相ステンレス（オーステナイト・フェライト系ステンレス）は、欧州地区で建造されるケミカルタンカーの貨物タンクに使用される等、実用化が進んでいる。

また、国内においても、近年二相ステンレスに関する材料、溶接等の JIS 規格の整備が進み、鋼材メーカーによる生産設備の拡張が進められ、二相ステンレスの利用拡大が見込まれている。今般、二相ステンレスに関する要件を整備すべく、関連規定を改めた。

改正内容

- (1) ステンレス素材に関する JIS 規格（G4304, G4305 及び G3459）に基づき、圧延鋼材及び鋼管の化学成分及び機械的性質の規定を加えた。
- (2) 二相ステンレスに対する突合せ溶接継手試験に関する規定を加えた。
- (3) ステンレス用溶接材料に関する JIS 規格（Z3221, Z3321 及び Z3323）に基づき、溶接材料に関する規定を加えた。